

日本初、CLT を活用した木造郵便局を施工 ～日本郵政グループの環境配慮型郵便局 1 号店舗～

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は国内の郵便局として初めて CLT(直交集成板)^{*1}を活用した丸山郵便局(千葉県南房総市)の施工を担当しました。丸山郵便局は日本郵政グループが推進するカーボンニュートラルの実現をめざす環境に配慮した郵便局(「+(ぷらす)エコ郵便局」)の第 1 号店舗として、2022 年 3 月 22 日に開局の予定です。木のぬくもり溢れる地域に密着した郵便局が誕生します。

木造平屋建ての建物はスギ材の CLT を壁、スギ・ヒノキのハイブリッドの CLT を屋根に使用。長さ 2m×幅 12m の CLT をクレーンで屋根部分に設置。壁は 90～150 mm 厚、屋根は 210 mm 厚、使用した CLT は約 51m³になります。壁と天井部分は CLT が現しとなり、木質感のある店舗です。

CLT は直交積層のため寸法安定性があり、高い耐震性を確保できます。一般的な厚みが 90～210mm 程度のため、断熱性にも優れています。

再生可能な資源である木材を活用することに加え、太陽光による自家発電設備の導入、地元千葉県産の杉材を「焼杉」^{*2}として外壁部分に使用しています。「焼杉」は日本郵政グループの企画により、地域の方々とともに作るワークショップで製作。当社は杉材の調達、供給、杉板 282 枚の焼杉製作に協力し、それを外壁として施工しました。



当社は SDGs の目標年である 2030 年を見据え、脱炭素社会の実現に向けてあるべき姿を事業構想に落とし込んだ長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を発表しました。脱炭素社会の実現に向け木材による炭素固定は重要で、長期に炭素を固定し続ける木造建築を非住宅でも増やしていく必要があります。今後もロードサイド店舗や公共施設を中心に非住宅建築の木造化・木質化を推進していきます。

国内外で森林経営から木材建材の調達・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで「木」を軸とした事業を展開する当社は、木を伐採・加工、利用、再利用、植林という住友林業の「ウッドサイクル」を回すことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

*1 CLT:クロス・ラミネイティッド・ティンバー(直交集成板)。長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度や、断熱性に優れる。

*2 焼杉:焼いた杉板。木の表面を焼き炭化させたもの。その炭化層は防火性・防腐・防蟻効果がある。



■物件概要

物件名	丸山郵便局
所在地	千葉県南房総市加茂 2695-3
敷地面積/延床面積	570.71 m ² /132 m ²
構造	木造平屋(CL T 造)
建物用途	郵便局
竣工	2022 年 2 月
施主	日本郵便株式会社 関東支社
設計	日本郵政株式会社 一級建築士事務所
施工	住友林業株式会社

《本件に関するお問い合わせ先》
住友林業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 佐藤
TEL 03-3214-2270
《設計・施工に関するお問い合わせ先》
住友林業株式会社 住宅・建築事業本部 建築事業部
TEL 03-3214-2535

以上

木と生きる幸福
住友林業グループ